

授業科目(ナンバリング)	地域観光研究B(アメリカ) (CA205) 実践的教育科目			担当教員	竹田 文雄 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
北米大陸を中心に、広範に点在する主要観光資源を、その地理と特色を踏まえながら学修する。 ・移民、開拓、商業主義に紐づいて今日に至る米国の「地域ごとの多様性」を認識する。 ・主要観光資源の解説にはヴィジュアル資料も使用することにより、魅力の本質の理解度を深める。 ・総合旅行業務取扱管理者試験「海外観光資源」出題内容に対応する。							②⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	南北アメリカ大陸に広く点在する観光資源の内、代表的な資源の情報を的確に収集して「いまの様相」を説明できる。				・随時試験	20%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	学内外での授業への積極的な参画、およびアクティブラーニングの実践ができる。				・授業参画度	15%	
協働・課題解決力							
多様性理解力	地域、州、国ごとに変化に富む、この地域の主要観光資源群の「地域ごとの多様性」を理解し取りまとめることができる。				・随時試験	65%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
随時試験 20 点 (授業の理解度。ポートフォリオ小テスト。授業 1 1 回目に実施。) 随時試験 6 5 点 (授業の理解度及び明解度。ポートフォリオ小テスト。授業第 1 5 回目に実施。) 授業参画度 1 5 点 (授業課題への取組み姿勢、質問・コメント等の有無とその回数。) 諸々のフィードバックは、ポートフォリオを用いて、または授業時間内に適宜実施していく。							
授業の概要							
担当教員の海外旅行事業実務経験(海外商品企画事業・国内商品企画事業・米国現地法人代表・イタリア勤務等)と知見を踏まえた実践的授業である。ヴィジュアル資料も使用しながら、主に米国の主要観光資源の「いまの様相」を学修していく。対象地域が広範囲にわたる為、米国以外の国々については主要な世界遺産を概観していく。多様な米国の観光資源についての「気づき」や「感想」を学生がポートフォリオを用いて発信できる機会も設けていく。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は 1 8 0 分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に定めない。 参考書：授業中に適宜紹介。 指定図書：『アメリカ素描』 司馬遼太郎著 新潮文庫							
授業外における学修及び学生に期待すること							
「地域ごとの多様性」にどれだけ興味を持てるか、がポイント。また、彼の地から発信されるニュース、例えば「カリフォルニア州の森林火災がナパバレーのワイン生産にもたらす重大な影響」等に日頃から関心を持つことに期待する。加えて「欠席・遅刻・早退・私語」の無い授業進行への参画も期待する。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予習・復習 ・レジュメ読み込みが中心。 ・予習は書き表すこと。
1	はじめに	授業の進め方のガイダンス。 北米、中南米、南米の地理や自然環境等を理解する。	アメリカ両大陸諸国の地理的位置関係を確認する。
2	米国総括	米国の地理や自然環境を理解する。	米国本土内、およびアラスカ州、ハワイ州の時差（時間差）を確認する。
3	東部時間地域（1）	主に東部13州の観光資源や地域について学ぶ。	米国の歴史における東部13州の位置付けについて。
4	東部時間地域（2）	NYC、フロリダの観光資源や地域について学ぶ。	ニューイングランド、世界を照らす自由、7マイル橋、オーランドについて。
5	中部時間地域	中部時間帯の観光資源や地域について学ぶ。	マウントラッシュモア、ダラス・フォートワース、竜巻街道について。
6	山岳部時間地域	山岳部時間帯の観光資源や地域について学ぶ。	アンテロープキャニオン、グランドキャニオン、アルバカーキについて。
7	太平洋時間地域（1）	太平洋時間帯の主に商業的観光資源について学ぶ。	カリフォルニア州、ネバダ州で一番行ってみたい都市（地域）を見つける。
8	太平洋時間地域（2）	太平洋時間帯の主に自然的観光資源について学ぶ。	ハーフ・ドーム、デスバレー、ナパワイントレイン、P. C. H. について。
9	ハワイ	日本人のアウトバウンド旅行で常に人気が高い理由を考える。	日本人アウトバウンドに人気が高い理由を3つ考える。パパハナウモクアケアについて調べる。
10	アラスカ・カナダ	これらの地域の自然的観光資源、歴史を学ぶ。	キャピラノ吊り橋、イエローナイフ、プリンスエドワード島、デナリについて。
11	米国レビュー	米国解説を終えてのレビューを実施。	予：第10週までのレビュー
12	メキシコ・中南米	これらの地域の自然的観光資源や国境の街などを学ぶ。	テオティワカン、セノーテ、チチェンイツァ、ティファナについて。
13	南米（1）	南大西洋側諸国の観光資源（世界遺産）を学ぶ。	ブラジルの世界遺産を3つ確認する。
14	南米（2）	南太平洋側諸国の観光資源（世界遺産）を学ぶ。	ペルーおよび島嶼地域の世界遺産を5つ確認する。
15	総復習 期末随時試験	総復習。 これまでの学修内容の習得度、理解度に関して試験を行う。	予：14週までの授業全体のレビュー。